

里山とくらしー上田上のヤマダから

古市 秀樹

昭和30年後半から田んぼにも機械化（耕運機の使用）が進み、また家においても電化製品（テレビ、洗濯機、）やプロパンガス等が使われるようになり、それまで使用されていた農具、民具が不要になり、捨てられ燃やされたりしているのを、目のあたりにして当時30代の上田上牧のお寺の住職東郷先生と田村博さんが、このままでは先人の思いが伝えられないと思い、牧町真光寺境内に牧町自治会の支援の下、田上郷土史料館を開館していただきました。今では、地域の貴重な民具が数多く収集されており、今日はその資料を参考にしながら、話をすすめてきたいと思います。どうかよろしくお願い申し上げます。

1. 田上と里山 その自然と歴史から

写真① 田上盆地全景新名神から見た
上田上

田上は東を田上山山系、北を金勝山、西を瀬田山に囲まれ、信楽を水源とする大戸川が北東から南の瀬田川へ流れ、扇状地のように田上盆地が広がりその地勢から独自の文化が育くまれました。



写真①

写真② 昭和40年代の大鳥居（今は、大戸川ダム建設に伴い移転）

写真③ // の平野地先（現在の青山中学校付近、後ろの山は牟礼山）

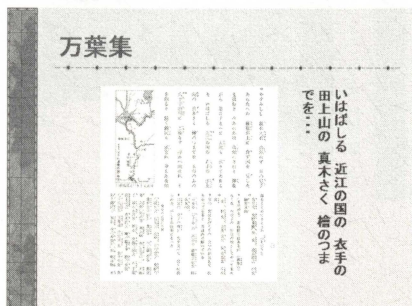


写真②

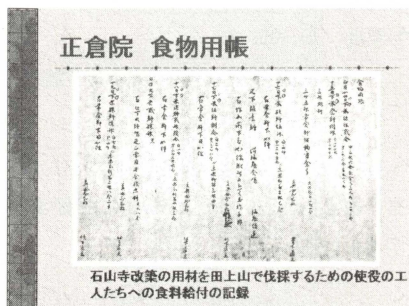


写真③

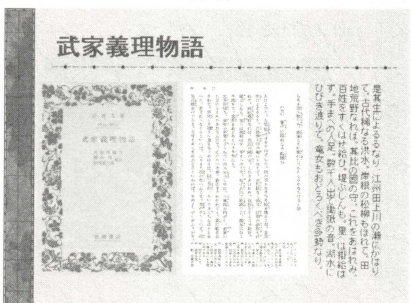
古くは日本書紀には谷上（たにのかみ）と表され、万葉集や正倉院文書の中、西鶴の武家義理物語にも田上の名が見られます。万葉集には「衣手の田上山の真木さく檜のつまでを」と・・・・・・・・



写真④



写真⑤



写真⑥

写真④、⑤、⑥ 武家義理物語の中には「江州田上川の瀬にかはりて、古代稀なる洪水。岸根の松柳もほれて田地荒野なれば、そのころの国の守、これをあわれみ百姓を救わせたまひ。堤普請も里へは掛けたまわず、手前の人足、数千人出て鋤、鋤の音、湖水に響き渡り竜女も驚く多勢なり。」・・・牧の真光寺には石碑があります。

その他にも、方丈記、司馬遼太郎さんの街道を行くにも田上の名がみえます。また、田上山は藤原京や石山寺造営の用材供給地とされ、田上山作所という役所が設けられていました。そのことにより（他にも製鉄の際の燃料確保）などが原因で多くの花崗岩が露出していた。

写真⑦ はげ山

明治以降、オランダ人技師デレーケや田辺朔之助らの指導により本格的な砂防事業が始まり、1000年を経てようやく緑が戻りつつあります。

写真⑧ オランダ堰堤

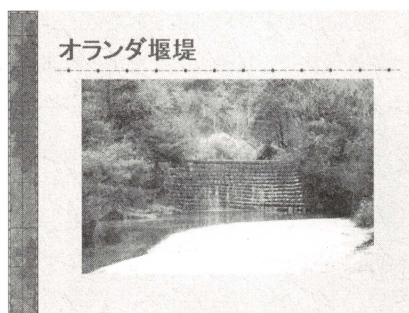
写真⑨、⑩、⑪、⑫

（現在の自然 八丁トンボ、鷺草、ホタル、モリアオガエル）

この田上の地で村人は里山に入り、ともに暮らしてきた時代がついこの前までありました。



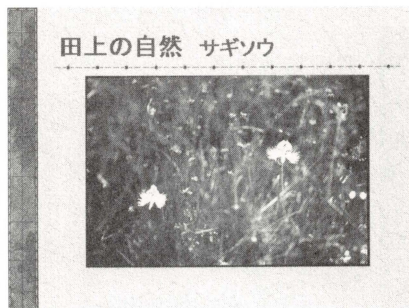
写真⑦



写真⑧



写真⑨（カラーページ p.9参照）



写真⑩（カラーページ p.9参照）

田上の自然 ホタル



写真⑪ (カラーページ p.10参照)

田上の自然 モリアオガエル



写真⑫ (カラーページ p.10参照)

2. 暮らし

昭和30年代半ばまでは生活の中に里山が入っていました。家にはおくどさん、五右衛門風呂があり、冬仕事として、男は「山行き」と称し、雑木（ぞうき）を伐採し割り木にし、女は「柴し」「木の葉かき」と称して山にっていました。男は紺パッチ、女性は田上手拭いを被り田上木綿の三巾前垂れをし山に入っていました。

コノハカンゴと綾の柴



綾(コバノミツバツツジ)の花

写真⑬ (カラーページ p.10参照)

柴運び



柴運び 中村氏

写真⑭

写真⑬ 木の葉カンゴ、柴

写真⑭ 柴運び

田上手ぬぐい



写真⑮

写真⑮ 田上手拭いと三巾前垂れの女性

小倉遊亀 故郷の人達



写真⑯

写真⑯ 小倉（おぐら）遊亀さん お父さんの出身が羽栗

割り木は家や小屋の軒先に積み、柴は木の葉は柴小屋や萱葺きの家のツシと呼ばれた屋根裏に積んだ。割り木は枯れた松のジンや竹は高温で釜を痛めるといわれ、あまり利用されなかったですね。また、柴は冬の綾の木が最上とされ、木の葉は晩秋から冬場の松葉、火付きもよく特によい松葉は「おこわ」とよばれ重宝された。おこわというのはもち米をむした白むしのことできれいに蒸しあがったおこわのようにふわっとなっているところから来ている。

春になるとトキ色の綾の花で里山が覆われるようになると里と山の間では蕨、ぜんまいが芽を出し女、子供たちは山菜取りに夢中になった。

（田上ではたらの芽やふきのとうはとりませんでしたね。）おくどさんから出た灰であく抜きをして、生節や油揚げと一緒に煮た蕨は田植え準備で疲れた大人たちのいいおかずになりました。

くすべとモロの木(ネズ)



くすべ (右一画)



写真⑰、⑱

里に蛍が飛び交うようになると家々ではモロの木をいぶした「くすべ」が厩（うまや）やおくどさんにくべられ（写真⑰くすべ、⑱モロの木）蚊取り線香の代わりとなったが、子供の頃は蚊にさされるより、その煙たさに涙したものです。

金木犀がにおうようになると男たちは松茸狩の時期が来たと血を騒がせた。松茸カンゴに入れ、荷負うて誇らしげに里に帰り、良い松茸は町からきた仲買人に売られ貴重な現金収入になった。が、虫食いやどべった（くさりかけた）のは昆布と一緒に煮られた松茸コンブは弁当のご飯の上に長い間、乗っていた。

写真⑱、⑳、㉑ 松茸写真

松脂掻き（写真㉑）太平洋戦争中には松脂が飛行機の燃料になったと村人の間では言われていましたが、戦後も他の地方から職人が来て掻いていたということがあったそうで

松茸採り



写真 ⑱

松茸採り



写真 ⑳

松茸採り



写真㉑

松脂掻き



写真㉒

す。多分に松脂の成分が印刷の際インクと混ぜることによりくっつきりと印刷できるというこで事業として成り立っていた。(ひまし油と松脂を事業 もうこのような松もほとんどなくなってきました。子供たちも大人以上に山に入った。(写真㉓ 山すべり)

風化した岩を谷底に落とす「岩落とし」、宿り木の実をチュウインガムといい噛み、岩なし、野いちごを取り、つつじの花の蜜を吸い空腹を満たした。水晶取りで曇りのない紫水晶を見つけた時は英雄だった。遊びだけでなく和紙の原料となる楮とりはいい小遣いとなった。(写真㉔)

山すべり



写真 ㉓

楮(雁皮)



写真 ㉔

これは楮の木です。樹皮は少々力では引っ張ってもきれることはありません。

どうぞ皆さんでまわしてください。最後の方、もって帰っていただいても結構ですが、

このような里山とのくらしも冒頭に申し上げましたように昭和40年代に入り、農作業にも耕運機などの機械化が進み家事にも電気製品、燃料にもプロパンガスになり、割り木、柴が不要となり里山にいらなくなってから、山が荒れ、松枯れも進みかつては見通しのよかった所も木々が繁り、子供たちも山で遊ぶこともなくなり、太い楮の木もあちこちでみられるようになった。もちろん昨今の温暖化ということもあると思いますが・・・

3. 上田上のヤマダから

ヤマダ(網掛)



写真 ㉔

ヤマダに水を供給する谷川



写真 ㉕

(写真㉔、㉕)

今、私は上田上、牧の網掛けという所で、大小7枚の棚田の田んぼを養い稲作をしています。

網掛け谷、高崎谷、口の谷(写真㉗、㉘)三本の谷から水を引き、1月に田起し(写真㉙)、春の初めには畝たて、彼岸の頃には谷に入った落ち葉を掻き田んぼに入れ、谷水を引き代掻き、田植えの準備をする。

谷水からは、椿、山桜の花が、秋に落ちた団栗も一緒に運ばれ田んぼに入る。

5月の連休に田植えをし、毎朝の水見にもなれた頃、青苗を鹿に食べられがっかりとする。梅雨になるとモリアオガエルが産卵したカキの木から田んぼにオタマジャクシが落ち夏を迎える。日当たりの悪いヤマダにもお盆前には穂が出て、夏休みの終わり頃に

ヤマダに水を供給する谷川



写真 ㉗

谷川から水を運ぶ水路



写真 ㉘



山道の落ち葉を田に鋤き込む

写真 ㉔

は色づいてくる。この時期をまっていたのは私だけでなくイノシシも電気柵をもともせず侵入してくる。

9月秋彼岸頃、収穫の日を迎え軽い稲束にも喜びがある。11月木々の葉が田んぼに落ちるようになると山行きの時期となり、周囲の繁った木々や枯れた木々を切り割り木にし、また、1月の田起こしを迎える。この繰り返しそれがくらしです。

ヤマダの生物多様性

生きもの田んぼ調査（上欄上）

No.	観名	目名	科名	和名	学名	水質	9月27日
						数値	田んぼ
1	10000	10	1000	10000	10000	10	10
2	10000	10	1000	10000	10000	10	10
3	10000	10	1000	10000	10000	10	10
4	10000	10	1000	10000	10000	10	10
5	10000	10	1000	10000	10000	10	10
6	10000	10	1000	10000	10000	10	10
7	10000	10	1000	10000	10000	10	10
8	10000	10	1000	10000	10000	10	10
9	10000	10	1000	10000	10000	10	10
10	10000	10	1000	10000	10000	10	10
11	10000	10	1000	10000	10000	10	10
12	10000	10	1000	10000	10000	10	10
13	10000	10	1000	10000	10000	10	10
14	10000	10	1000	10000	10000	10	10
15	10000	10	1000	10000	10000	10	10
16	10000	10	1000	10000	10000	10	10
17	10000	10	1000	10000	10000	10	10
18	10000	10	1000	10000	10000	10	10
19	10000	10	1000	10000	10000	10	10
20	10000	10	1000	10000	10000	10	10
21	10000	10	1000	10000	10000	10	10
22	10000	10	1000	10000	10000	10	10
23	10000	10	1000	10000	10000	10	10
24	10000	10	1000	10000	10000	10	10
25	10000	10	1000	10000	10000	10	10
26	10000	10	1000	10000	10000	10	10
27	10000	10	1000	10000	10000	10	10
28	10000	10	1000	10000	10000	10	10
29	10000	10	1000	10000	10000	10	10
30	10000	10	1000	10000	10000	10	10
31	10000	10	1000	10000	10000	10	10
32	10000	10	1000	10000	10000	10	10
33	10000	10	1000	10000	10000	10	10
34	10000	10	1000	10000	10000	10	10
35	10000	10	1000	10000	10000	10	10
36	10000	10	1000	10000	10000	10	10
37	10000	10	1000	10000	10000	10	10
38	10000	10	1000	10000	10000	10	10
39	10000	10	1000	10000	10000	10	10
40	10000	10	1000	10000	10000	10	10
41	10000	10	1000	10000	10000	10	10
42	10000	10	1000	10000	10000	10	10
43	10000	10	1000	10000	10000	10	10
44	10000	10	1000	10000	10000	10	10
45	10000	10	1000	10000	10000	10	10
46	10000	10	1000	10000	10000	10	10
47	10000	10	1000	10000	10000	10	10
48	10000	10	1000	10000	10000	10	10
49	10000	10	1000	10000	10000	10	10
50	10000	10	1000	10000	10000	10	10
51	10000	10	1000	10000	10000	10	10
52	10000	10	1000	10000	10000	10	10
53	10000	10	1000	10000	10000	10	10
54	10000	10	1000	10000	10000	10	10
55	10000	10	1000	10000	10000	10	10
56	10000	10	1000	10000	10000	10	10
57	10000	10	1000	10000	10000	10	10
58	10000	10	1000	10000	10000	10	10
59	10000	10	1000	10000	10000	10	10
60	10000	10	1000	10000	10000	10	10
61	10000	10	1000	10000	10000	10	10
62	10000	10	1000	10000	10000	10	10
63	10000	10	1000	10000	10000	10	10
64	10000	10	1000	10000	10000	10	10
65	10000	10	1000	10000	10000	10	10
66	10000	10	1000	10000	10000	10	10
67	10000	10	1000	10000	10000	10	10
68	10000	10	1000	10000	10000	10	10
69	10000	10	1000	10000	10000	10	10
70	10000	10	1000	10000	10000	10	10
71	10000	10	1000	10000	10000	10	10
72	10000	10	1000	10000	10000	10	10
73	10000	10	1000	10000	10000	10	10
74	10000	10	1000	10000	10000	10	10
75	10000	10	1000	10000	10000	10	10
76	10000	10	1000	10000	10000	10	10
77	10000	10	1000	10000	10000	10	10
78	10000	10	1000	10000	10000	10	10
79	10000	10	1000	10000	10000	10	10
80	10000	10	1000	10000	10000	10	10
81	10000	10	1000	10000	10000	10	10
82	10000	10	1000	10000	10000	10	10
83	10000	10	1000	10000	10000	10	10
84	10000	10	1000	10000	10000	10	10
85	10000	10	1000	10000	10000	10	10
86	10000	10	1000	10000	10000	10	10
87	10000	10	1000	10000	10000	10	10
88	10000	10	1000	10000	10000	10	10
89	10000	10	1000	10000	10000	10	10
90	10000	10	1000	10000	10000	10	10
91	10000	10	1000	10000	10000	10	10
92	10000	10	1000	10000	10000	10	10
93	10000	10	1000	10000	10000	10	10
94	10000	10	1000	10000	10000	10	10
95	10000	10	1000	10000	10000	10	10
96	10000	10	1000	10000	10000	10	10
97	10000	10	1000	10000	10000	10	10
98	10000	10	1000	10000	10000	10	10
99	10000	10	1000	10000	10000	10	10
100	10000	10	1000	10000	10000	10	10

① 観名 ② 目名 ③ 科名 ④ 和名 ⑤ 学名 ⑥ 水質 ⑦ 9月27日

⑧ 数値 ⑨ 田んぼ ⑩ 水質 ⑪ 水質

⑫ 観名 ⑬ 目名 ⑭ 科名 ⑮ 和名 ⑯ 学名 ⑰ 水質 ⑱ 9月27日

⑲ 数値 ⑳ 田んぼ ㉑ 水質 ㉒ 水質

⑳ 観名 ㉓ 目名 ㉔ 科名 ㉕ 和名 ㉖ 学名 ㉗ 水質 ㉘ 9月27日

㉙ 数値 ㉚ 田んぼ ㉛ 水質 ㉜ 水質

㉝ 観名 ㉞ 目名 ㉟ 科名 ㊱ 和名 ㊲ 学名 ㊳ 水質 ㊴ 9月27日

㊵ 数値 ㊶ 田んぼ ㊷ 水質 ㊸ 水質

㊹ 観名 ㊺ 目名 ㊻ 科名 ㊼ 和名 ㊽ 学名 ㊾ 水質 ㊿ 9月27日

㋀ 数値 ㋁ 田んぼ ㋂ 水質 ㋃ 水質

㋄ 観名 ㋅ 目名 ㋆ 科名 ㋇ 和名 ㋈ 学名 ㋉ 水質 ㋊ 9月27日

㋋ 数値 ㋌ 田んぼ ㋍ 水質 ㋎ 水質

㋏ 観名 ㋐ 目名 ㋑ 科名 ㋒ 和名 ㋓ 学名 ㋔ 水質 ㋕ 9月27日

㋖ 数値 ㋗ 田んぼ ㋘ 水質 ㋙ 水質

㋚ 観名 ㋛ 目名 ㋜ 科名 ㋝ 和名 ㋞ 学名 ㋟ 水質 ㋠ 9月27日

㋡ 数値 ㋢ 田んぼ ㋣ 水質 ㋤ 水質

㋥ 観名 ㋦ 目名 ㋧ 科名 ㋨ 和名 ㋩ 学名 ㋪ 水質 ㋫ 9月27日

㋬ 数値 ㋭ 田んぼ ㋮ 水質 ㋯ 水質

㋰ 観名 ㋱ 目名 ㋲ 科名 ㋳ 和名 ㋴ 学名 ㋵ 水質 ㋶ 9月27日

㋷ 数値 ㋸ 田んぼ ㋹ 水質 ㋺ 水質

㋻ 観名 ㋼ 目名 ㋽ 科名 ㋾ 和名 ㋿ 学名 ㊀ 水質 ㊁ 9月27日

㊂ 数値 ㊃ 田んぼ ㊄ 水質 ㊅ 水質

㊆ 観名 ㊇ 目名 ㊈ 科名 ㊉ 和名 ㊊ 学名 ㊋ 水質 ㊌ 9月27日

㊍ 数値 ㊎ 田んぼ ㊏ 水質 ㊐ 水質

㊑ 観名 ㊒ 目名 ㊓ 科名 ㊔ 和名 ㊕ 学名 ㊖ 水質 ㊗ 9月27日

㊘ 数値 ㊙ 田んぼ ㊚ 水質 ㊛ 水質

㊜ 観名 ㊝ 目名 ㊞ 科名 ㊟ 和名 ㊠ 学名 ㊡ 水質 ㊢ 9月27日

㊣ 数値 ㊤ 田んぼ ㊥ 水質 ㊦ 水質

㊧ 観名 ㊨ 目名 ㊩ 科名 ㊪ 和名 ㊫ 学名 ㊬ 水質 ㊭ 9月27日

㊮ 数値 ㊯ 田んぼ ㊰ 水質 ㊱ 水質

㊲ 観名 ㊳ 目名 ㊴ 科名 ㊵ 和名 ㊶ 学名 ㊷ 水質 ㊸ 9月27日

㊹ 数値 ㊺ 田んぼ ㊻ 水質 ㊼ 水質

㊽ 観名 ㊾ 目名 ㊿ 科名 ㋀ 和名 ㋁ 学名 ㋂ 水質 ㋃ 9月27日

㋄ 数値 ㋅ 田んぼ ㋆ 水質 ㋇ 水質

㋈ 観名 ㋉ 目名 ㋊ 科名 ㋋ 和名 ㋌ 学名 ㋍ 水質 ㋎ 9月27日

㋏ 数値 ㋐ 田んぼ ㋑ 水質 ㋒ 水質

㋓ 観名 ㋔ 目名 ㋕ 科名 ㋖ 和名 ㋗ 学名 ㋘ 水質 ㋙ 9月27日

㋚ 数値 ㋛ 田んぼ ㋜ 水質 ㋝ 水質

㋞ 観名 ㋟ 目名 ㋠ 科名 ㋡ 和名 ㋢ 学名 ㋣ 水質 ㋤ 9月27日

㋥ 数値 ㋦ 田んぼ ㋧ 水質 ㋨ 水質

㋩ 観名 ㋪ 目名 ㋫ 科名 ㋬ 和名 ㋭ 学名 ㋮ 水質 ㋯ 9月27日

㋰ 数値 ㋱ 田んぼ ㋲ 水質 ㋳ 水質

㋴ 観名 ㋵ 目名 ㋶ 科名 ㋷ 和名 ㋸ 学名 ㋹ 水質 ㋺ 9月27日

㋻ 数値 ㋼ 田んぼ ㋽ 水質 ㋾ 水質

㋿ 観名 ㊀ 目名 ㊁ 科名 ㊂ 和名 ㊃ 学名 ㊄ 水質 ㊅ 9月27日

㊆ 数値 ㊇ 田んぼ ㊈ 水質 ㊉ 水質

㊊ 観名 ㊋ 目名 ㊌ 科名 ㊍ 和名 ㊎ 学名 ㊏ 水質 ㊑ 9月27日

㊒ 数値 ㊓ 田んぼ ㊔ 水質 ㊕ 水質

㊖ 観名 ㊗ 目名 ㊘ 科名 ㊙ 和名 ㊚ 学名 ㊛ 水質 ㊜ 9月27日

㊝ 数値 ㊞ 田んぼ ㊟ 水質 ㊠ 水質

㊡ 観名 ㊢ 目名 ㊣ 科名 ㊤ 和名 ㊦ 学名 ㊧ 水質 ㊨ 9月27日

㊩ 数値 ㊪ 田んぼ ㊫ 水質 ㊬ 水質

㊭ 観名 ㊮ 目名 ㊯ 科名 ㊰ 和名 ㊱ 学名 ㊲ 水質 ㊳ 9月27日

㊴ 数値 ㊵ 田んぼ ㊶ 水質 ㊷ 水質

㊸ 観名 ㊹ 目名 ㊺ 科名 ㊻ 和名 ㊼ 学名 ㊽ 水質 ㊾ 9月27日

㊿ 数値 ㋀ 田んぼ ㋁ 水質 ㋂ 水質

㋃ 観名 ㋄ 目名 ㋅ 科名 ㋆ 和名 ㋇ 学名 ㋈ 水質 ㋉ 9月27日

㋊ 数値 ㋋ 田んぼ ㋌ 水質 ㋍ 水質

㋎ 観名 ㋏ 目名 ㋐ 科名 ㋑ 和名 ㋒ 学名 ㋓ 水質 ㋔ 9月27日

㋕ 数値 ㋖ 田んぼ ㋗ 水質 ㋘ 水質

㋙ 観名 ㋚ 目名 ㋛ 科名 ㋜ 和名 ㋝ 学名 ㋞ 水質 ㋟ 9月27日

㋠ 数値 ㋡ 田んぼ ㋢ 水質 ㋣ 水質

㋤ 観名 ㋥ 目名 ㋦ 科名 ㋧ 和名 ㋨ 学名 ㋩ 水質 ㋪ 9月27日

㋫ 数値 ㋬ 田んぼ ㋭ 水質 ㋮ 水質

㋯ 観名 ㋰ 目名 ㋱ 科名 ㋲ 和名 ㋳ 学名 ㋴ 水質 ㋵ 9月27日

㋶ 数値 ㋷ 田んぼ ㋸ 水質 ㋹ 水質

㋺ 観名 ㋻ 目名 ㋼ 科名 ㋽ 和名 ㋾ 学名 ㋿ 水質 ㊀ 9月27日

㊁ 数値 ㊂ 田んぼ ㊃ 水質 ㊄ 水質

㊅ 観名 ㊆ 目名 ㊇ 科名 ㊈ 和名 ㊉ 学名 ㊊ 水質 ㊋ 9月27日

㊌ 数値 ㊍ 田んぼ ㊎ 水質 ㊏ 水質

㊑ 観名 ㊒ 目名 ㊓ 科名 ㊔ 和名 ㊕ 学名 ㊖ 水質 ㊗ 9月27日

㊘ 数値 ㊙ 田んぼ ㊚ 水質 ㊛ 水質

㊜ 観名 ㊝ 目名 ㊞ 科名 ㊟ 和名 ㊠ 学名 ㊡ 水質 ㊢ 9月27日

㊣ 数値 ㊤ 田んぼ ㊥ 水質 ㊦ 水質

㊧ 観名 ㊨ 目名 ㊩ 科名 ㊪ 和名 ㊫ 学名 ㊬ 水質 ㊭ 9月27日

㊮ 数値 ㊯ 田んぼ ㊰ 水質 ㊱ 水質

㊲ 観名 ㊳ 目名 ㊴ 科名 ㊵ 和名 ㊶ 学名 ㊷ 水質 ㊸ 9月27日

㊹ 数値 ㊺ 田んぼ ㊻ 水質 ㊼ 水質

㊽ 観名 ㊾ 目名 ㊿ 科名 ㋀ 和名 ㋁ 学名 ㋂ 水質 ㋃ 9月27日

㋄ 数値 ㋅ 田んぼ ㋆ 水質 ㋇ 水質

㋈ 観名 ㋉ 目名 ㋊ 科名

ヤマダのおにぎり！



写真 ③①

ヤマダのお米をおくどさんで炊く



写真 ③②

付録ですが 割り木でご飯を炊いたり、風呂を沸かしています（写真③①、③②）

大正初めに編纂された近江輿地志略には土産、野洲郡の巻に本朝の米、近江国播磨田村の米を最上とする。と表されたいますが、注の欄に播磨田米を最上とするのはいかが、田上米、古来より定評ありと記されています。

米は水と土とそして、人によっておいしい米ができます。このように自然と先人たちの努力によって守られ、作られてきた、田上の地を次の世代に引く継げるようもう少しがんばっていきたいと思います。最後になりましたがこのような機会を与えていただきました龍谷大学のオープンリサーチセンター関係者の皆様と大した話でもありませんのに最後までお聞きいただきました皆様に感謝を申し上げ終わりとさせていただきます。ありがとうございました。